

## 幼稚園、小・中学校 教育の充実

### 現況と課題

本市の児童・生徒数は、2009年（平成21年）5月現在、小学生11,165人、中学生4,910人と、ピーク時の約60%まで減少しており、今後も緩やかな減少が見込まれます。

今日、変化の激しい社会の中で、我が国の教育は大きな転換期にあり、全国で様々な教育改革が進められています。

本市でも、2003年（平成15年）度に「宇治市教育ルネッサンスプラン」を策定し、「学力の充実向上」、「安全・安心の学校づくり」、「特色ある学校づくり」の3点を本市教育の重点として、教育先進都市としての取組を進めてきました。

2007年（平成19年）度には、小中一貫教育を中核に据えた新たな教育システムの構築や学校規模等の適正化を図るために、「宇治市小中一貫教育と学校規模等適正化の方向～NEXUS（ネクサス）プラン～」を策定し、2012年（平成24年）度から、本市の全小・中学校で小中一貫教育を実施するとともに、そのパイロット校として（仮称）第一小中一貫校を整備します。

この小中一貫教育を実施する中で、教科指導をはじめ、生徒指導、人権教育、特別支援教育、健康安全教育や時代に応じた教育課題などの全ての教育分野でより一層の充実を図り、子ども達の「生きる力」を育みます。

そのためには、教職員の意識改革と資質・指導力の向上は不可欠であり、京都府教育委員会が行う研修に加え、これまでから行ってきた本市独自の教職員研修も引き続き充実を図る必要があります。

また、家庭・地域と学校との連携の下、安全対策に取り組んでいますが、今後も継続した取組が必要です。

一方、2010年（平成22年）度の就学前教育のあり方検討委員会の提言や、中学校昼食検討委員会のまとめを受け、幼稚園と保育所の連携や中学校昼食の導入など多様化する市民ニーズに応える方策を進める必要があります。

### 目標

確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育むため、小中一貫教育の推進をはじめ、教育内容の充実を図ります。

※（仮称）第一小中一貫校は、平成23年3月に公募によっていただいた意見をもとに「宇治黄檗学園」という愛称に決定しました。

### 目標値・指標値

	現 状 値 (平成21年度)	第1期計画 (平成25年度)	将来展望	備 考
小中一貫教育の実施校	実践的研究 1中学校区 1小学校	全面实施(※)	→	※9中学校区1小中一貫校 (平成24年度から)

### 取組の方向

#### 1 ● 小中一貫教育の推進

児童・生徒の確かな学力、豊かな人間性、健康・体力など、「生きる力」を育むため、義務教育9年間を見据えた小中一貫教育を推進します。

#### 2 ● 豊かな人間性を育む学校教育の充実

家庭教育との連携を通じ児童・生徒の豊かな人間性を育むため、地域特性を活かした「宇治学」、人権教育、特別支援教育や道徳教育などの学校教育の充実を図ります。

#### 3 ● 健康安全教育・給食の充実

児童・生徒の健康保持・増進や食育の推進を図るため、健康安全教育や食に関する指導の充実をめるとともに、中学校での昼食提供等を進めます。

#### 4 ● 教職員の意識改革と指導力の向上

国際化・高度情報化等変化の激しい社会や新しい教育ニーズに的確に対応するため、京都府教育委員会と協調して教職員研修の充実を図ります。

#### 5 ● 就学援助・就園助成の実施

経済的理由による就学困難者の就学を支援するため、就学援助を行います。また、就園の負担軽減のため、私立幼稚園就園助成を行います。

#### 6 ● 地域と連携した開かれた学校づくり

学校・園の教育の充実と安全・安心な学校づくりを推進するため、地域との連携の下、学校教育での地域人材の活用や、児童・生徒の見守り活動を進めます。

#### 7 ● 多様化する就学前教育ニーズへの対応

多様化する就学前教育のニーズに対応するため、国の動向を十分に踏まえ、効果的な就学前教育を推進します。

#### 8 ● 学校規模等適正化の推進

学校規模等適正化を推進し教育環境の充実を図るため、NEXUS（ネクサス）プランに基づき校区の再編や学校の統廃合を進めます。



（仮称）第一小中一貫校のイメージパース

### 関連部門計画

- 宇治市教育ルネッサンスプラン
- 宇治市小中一貫教育と学校規模等適正化の方向 ～NEXUS（ネクサス）プラン～

## 現況と課題

学校施設の耐震化については、学校施設の耐震化方針に基づき2007年（平成19年）度から、補強工事を行っており、2009年（平成21年）度末の学校施設の耐震化率は、63.6%となっています。また、空調機設置をはじめ、トイレやライフラインの改修等の大規模改修については、計画的に整備を行っています。

今後も、学校施設については、老朽化対策や耐震診断結果に基づく耐震補強などを進めるとともに、学校規模の適正化のあり方について校区再編や統廃合も含め総合的な検討を行い（仮称）第一小中一貫校の整備をはじめ、計画的な施設整備を図る必要があります。

また、高度情報化社会に対応した学校教育のICT化を推進するための整備を進めています。今後はこれらを十分に活用した教育が実践できるよう、教育研究や教職員の研修をさらに推進する必要があります。

## 目標

児童・生徒が安全で、快適に学べる環境を構築するため、老朽化対策や耐震補強などを進めます。また、高度情報化に対応した学校教育のICT化を推進するための整備を行うなど、学校教育環境の充実を図ります。

## 目標値・指標値

	現状値 (平成21年度)	第1期計画 (平成25年度)	将来展望	備考
学校施設の耐震化率	63.6%	100%	—	
学校施設の空調機設置率 (普通教室)	平成22年9月 7校設置	↗	100%	

## 取組の方向

### 1 ● 耐震化の推進

児童・生徒の震災時の安全を確保するため、耐震力の低い校舎の耐震化を図ります。

### 2 ● 学校施設環境の充実

教育環境の改善・充実を図るため、空調機の設置や老朽化対策などの施設整備や設備の点検と更新を計画的に進めます。

### 3 ● 学校教育のICT化の推進

高度情報化社会に対応した教育を推進するため、パソコン・LAN設備等の最適化や普及・活用のための環境整備を推進します。

### 4 ● 小中一貫校の整備

小中一貫教育を推進するため、パイロット校として、（仮称）第一小中一貫校を整備するとともに、今後の方向性について検討します。



校舎の耐震補強の様子



コンピュータ教室（小学校）

## 関連部門計画

- 学校施設整備計画
- 学校施設の耐震化方針



大分類 4  
生きる力を育む  
教育の充実と  
生涯学習の推進のまち

中分類 1 学校教育の充実  
小分類 3 青少年の健全育成

現況と課題

次世代を担う青少年がたくましく、心豊かに成長することは全ての市民共通の願いです。しかし、近年、青少年が加害者・被害者となる痛ましい犯罪、ニート、引きこもり、いじめ、不登校や自殺の問題など、青少年を取り巻く状況はますます複雑化、深刻化しています。また、近所付き合いの低下や地域活動の減少など、地域のつながりが希薄化し、「地域の教育力の低下」も懸念されています。

こうした中、青少年が「生きる力」を育み、新しい時代を切り拓くたくましい青少年を育成するためには、家庭・地域・学校・関係機関等が密接に連携を保ちつつ、それぞれの役割を果たしながら青少年の健全育成に対して有効に機能するような体制づくりを進めるなど、社会全体で支援していくことが求められています。

また、全国的に非行の低年齢化が進むとともに、少年による凶悪・粗暴な事件の発生等様々な問題が起こっています。さらに、子ども達の体験活動の不足や様々なストレスなどの要因が複雑に絡み合っ、全国的に不登校児童・生徒が増加するという問題も起こっています。こうしたことを子ども達が発する信号として大人が的確に受け止め、子ども達が夢や希望を持っていきいきと暮らせるような社会づくりを目指し、条件整備を図っていくことが求められています。

今後も、次世代を担う青少年が、地域社会の一員としての責任を自覚し、創造性豊かで協調性のある人間として成長することができるよう、地域に根差した多様で魅力的な青少年活動の充実を図る必要があります。

また、様々な体験活動を通し、青少年が豊かな心を育み、生きる力を身に付けられるよう、各種事業や施設の整備など、青少年健全育成のための多様な取組を進める必要があります。

目標

青少年がたくましく心豊かに、また地域社会の一員として創造性豊かで協調性のある人間として成長できるように、青少年の育成に関する多様な取組を進めます。

目標値・指標値

	現状値 (平成21年度)	第1期計画 (平成25年度)	将来展望	備考
問題行動件数 (小・中学校)	974件	↓	↓	
不登校児童・生徒数 (小・中学校)	269人	↓	↓	

取組の方向

1 ● 社会全体で連携した青少年の健全育成

青少年の健全育成のため、家庭・地域・学校・関係機関と連携して各種事業の実施、啓発活動や調査研究などを行います。

2 ● 青少年非行防止活動の推進

非行・問題行動を未然に防止するため、関係機関と連携して補導や啓発活動・相談活動を実施します。

3 ● 不登校児童・生徒への対応

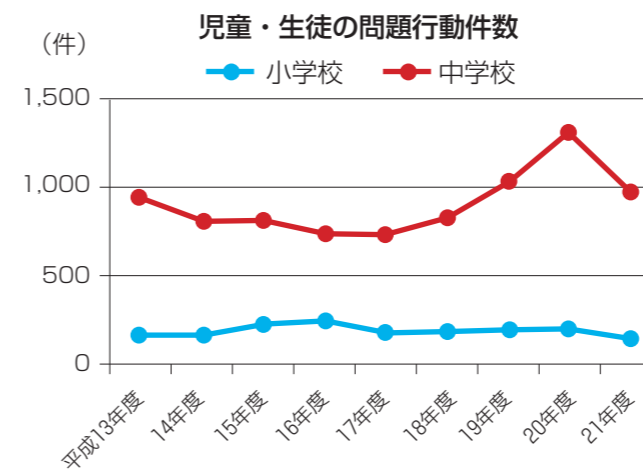
不登校となっている児童・生徒の登校を促すため、相談員を派遣するとともに、適応指導教室等を開催します。

4 ● 指導者・関係団体の育成・支援

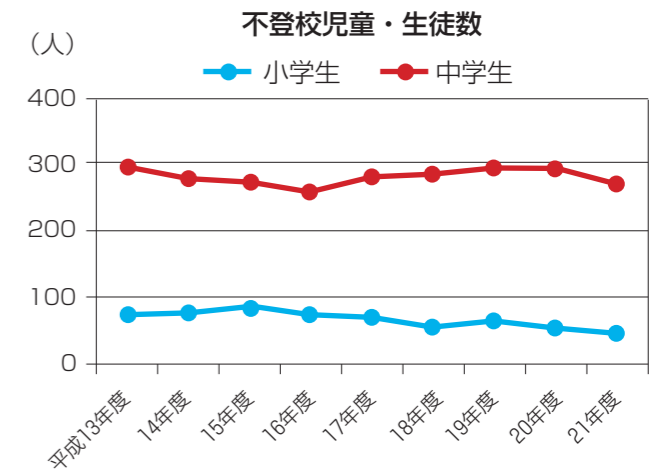
次世代を担う青少年を育成するため、指導者・関係団体の育成・支援を行います。

5 ● 青少年支援拠点のあり方の検討

青少年に関する様々な問題に対応するため、総合的な支援拠点のあり方について検討します。



	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
小学校	154	163	221	237	173	186	187	197	150
中学校	786	646	589	506	568	652	824	1,128	824
合計	940	809	810	743	741	838	1,011	1,325	974



	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
小学生	73	74	81	74	66	55	63	54	46
中学生	222	202	191	183	215	227	230	239	223
合計	295	276	272	257	281	282	293	293	269

関連部門計画

- 宇治市青少年プラン

大分類 4  
 生きる力を育む  
 教育の充実と  
 生涯学習の推進のまち

中分類 2 生涯学習の充実  
 小分類 1 生涯学習の推進

現況と課題

少子高齢社会の進展、生活水準の向上、週休2日制等労働時間の短縮による自由時間の増大とともに、高度情報化や国際化の進展など、社会や時代は著しく変化を遂げています。

こうした状況下で、人々は、真の豊かさとは何であるかを考え求めるようになってきており、自己実現のための様々な学習活動も活発に展開されています。また、高度化、多様化する学習ニーズに的確に対応するためには、市民の自主的、自発的な学習活動を積極的に、きめ細かく支援していく必要があるとともに、長年の学習活動で習得した知識・技術を社会に還元できる方策を検討していくことが求められています。

本市では、1996年（平成8年）度に「宇治市生涯学習基本計画」を策定し、一人でも多くの市民が生涯学習に親しめるよう、多様な施策を展開してきました。また、1999年（平成11年）度には豊かな自然環境の中で、野外活動の場を提供するため、総合野外活動センターを建設するとともに、2003年（平成15年）度にはこれまでの施策を検証し、時代に対応した新たな施策の展開を図るため「宇治市生涯学習推進プラン（宇治まなびAIUEOプラン）」を策定しました。この中で、生涯学習推進事業の把握・評価を行い、行政施策を進める上での生涯学習事業の意識付けを行ってきました。

また、2004年（平成16年）度から自宅でも学習ができるようインターネットを活用したeラーニング講座をNPOや市民グループと協働し、製作したコンテンツの配信を開始するなど、学習機会の提供を図りました。

さらに、2006年（平成18年）度には、「宇治市子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの自主的な読書活動の推進に取り組んでいます。

今後も、市民の生涯学習活動を支援するため、市民・関係団体と行政の協働の下、生涯学習推進体制の構築を図ります。また、市民がやりがいのある仕事と充実した私生活を両立できるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現を促進する必要があります。

目標

高度化、多様化する生涯学習のニーズに対応するため、関係機関・団体等と連携を図りながら、市民の自主的、自発的な学習活動を促進します。また、市民の経験や習得した学習成果を地域・社会に還元できるシステムづくりを進めます。

目標値・指標値

	現状値 (平成21年度)	第1期計画 (平成25年度)	将来展望	備考
総合野外活動センターの 来場者数	97,857人	117,000人	↗	
生涯学習センター講座等 延べ参加者数	13,662人	14,000人	↗	
人材バンクの登録件数	127件	↗	↗	
図書館の年間総貸出冊数	930,971冊	979,000冊	↗	

取組の方向

1 ● 生涯学習推進体制の充実

高度化、多様化する生涯学習のニーズに対応するため、自主的な学習活動を支援するとともに、学習で得た知識・技術・経験を社会に還元できる仕組みづくりに努めます。

2 ● 家庭・地域社会の教育力の向上

家庭教育の充実と地域社会の教育力を向上するため、子どもの居場所づくりを推進するなど、家庭・地域と学校が連携して取り組みます。

3 ● 生涯学習センター・公民館活動の充実

地域での生涯学習活動を促進するため、生涯学習センターや公民館における事業の充実と効果的な情報発信に努めます。また、宇治公民館の整備を再検討します。

4 ● ICT技術を活用した生涯学習の推進

多様な学習ニーズに対応するため、市民と協働して、インターネットやデジタルデータを活用した、いつでもどこでも誰でも学習ができる仕組みを構築します。

5 ● 読書活動の推進、図書館の充実

読書活動の推進を図るため、ライフステージに応じた利用しやすい図書館サービスの充実に努めるとともに、子どもの自主的な読書活動を促進する取組を進めます。

6 ● 青少年センター活動の充実

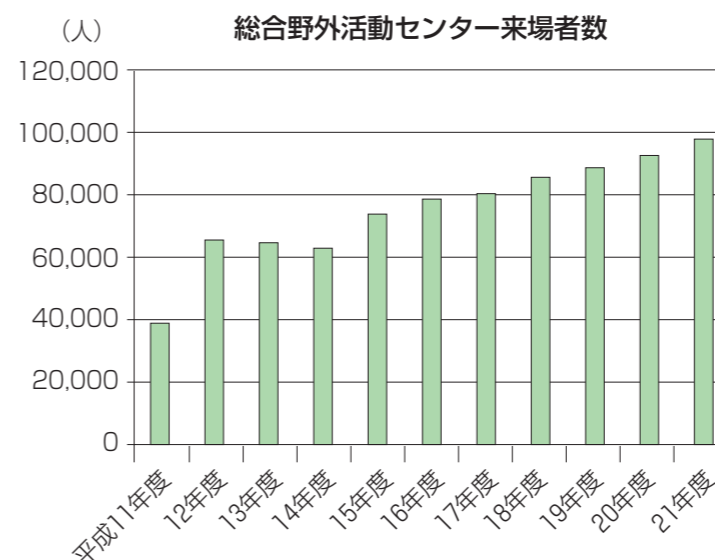
青少年の教育文化の向上と健全育成を図るため、青少年センターでの各種事業の充実に努めます。

7 ● 総合野外活動センターの充実

市民の生涯学習の振興を図るため、総合野外活動センターにおける各種事業の充実に努めるとともに、笠取地区の資源を活かした取組を進めます。

8 ● ワーク・ライフ・バランスの充実

仕事と生活の調和を目指し、市民が豊かな生涯を送るため、様々な生涯学習活動への参加・参画を促進するよう時代に対応した事業の展開を図ります。



宇治市子ども読書の日記念行事  
 「1日かぎりのひだまりとしょかん  
 ～秋のおくりもの～」  
 (中央図書館)

関連部門計画

- 宇治市生涯学習基本計画
- 宇治市生涯学習推進プラン（宇治まなびAIUEOプラン）
- 宇治市子どもの読書活動推進計画
- 宇治市青少年プラン



## 現況と課題

スポーツ・レクリエーションに対する市民ニーズが高まる中、本市では、市民総合体育大会をはじめとする各種大会、初心者向けのスポーツ教室や、ニュースポーツの紹介・普及を目的としたスポーツひろばなど、多くの市民にスポーツ・レクリエーションの機会を提供しています。

また、各種スポーツ団体等を育成するとともに、黄檗体育館、西宇治体育館、総合野外活動センター、巨椋ふれあい運動ひろばや、グラウンド・ゴルフ場などの施設整備をはじめ、学校体育施設の開放事業等に努めてきました。

これら施設については、これまで、効果的な修繕・補修により施設の長寿命化に取り組んできましたが、今後は、各施設において計画的な改修の検討が必要になります。

さらに、(財)宇治市体育協会をはじめとする各種団体等でも、それぞれの分野で市民のスポーツ・レクリエーション振興のために積極的な活動が展開されていますが、限られた運動施設の中での利用拡大を図るための検討が必要です。

近年、幼児から高齢者まで市民各層にわたって、ストレス・運動不足の解消、健康・体力づくり、友人・仲間との交流や家族とのふれあいなど、スポーツ・レクリエーション活動は重要な役割を果たしており、こうした傾向は労働時間の短縮等自由時間の増大と相まって一層の高まりを見せています。また、団塊の世代の大量退職により、今後さらにスポーツ・レクリエーション活動のニーズが増加することが想定されます。

そのため、指導者・スポーツボランティアの育成や、スポーツ・レクリエーション情報の提供に努め、総合型地域スポーツクラブに関する支援を行うなど、市民が年齢や技術・体力に応じて楽しめるような条件整備を図ることが重要な課題となっていることから、地域におけるスポーツの振興を目指して、生涯スポーツ社会の実現に向け、2008年(平成20年)度に、2018年(平成30年)度までの10年間を計画期間とする「宇治市スポーツ振興計画(ASEプラン)」を策定しました。

今後も、地域スポーツの充実を図るため、関係団体等との連携を図り、支援体制を構築していく必要があります。

## 目 標

スポーツ・レクリエーションに対するニーズの高まりに対応するため、各種事業の実施や普及・啓発を図るとともに、関係団体等との連携を図りながら、市民の主体的な活動を支援し、スポーツ・レクリエーションの普及を図ります。

## 目標値・指標値

	現 状 値 (平成21年度)	第1期計画 (平成25年度)	将 来 展 望	備 考
市の主催等による各種スポーツ大会・教室・ひろば等参加者数	34,000人	38,000人	↗	
成人で週1回以上スポーツをする人の割合	41.7% (※1)	↗	50% (※2)	※1 平成18年度アンケート実施 ※2 国のスポーツ振興基本計画の目標値

## 取組の方向

### 1 ● スポーツ・レクリエーションの機会の提供

市民が気軽にスポーツをする機会を増やすため、ニュースポーツの教室や講習会などを開催します。

### 2 ● 指導者等の育成、関係団体等への支援

市民・地域の自発的、自主的なスポーツ活動を促進するため、様々な世代の指導者・スポーツボランティアの育成や関係団体等への支援を行います。

### 3 ● スポーツの場の充実や情報の提供

市民に身近なスポーツの場を確保するため、公園・緑地の整備と連携してスポーツ施設の充実・有効活用を図るとともに、スポーツ等に関する情報を発信します。

西宇治公園・黄檗体育館の活用・再整備については、大分類5中分類1小分類2「公園・緑地の有効活用」に記述しています。



各種スポーツ活動の様子



## 関連部門計画

- 宇治市生涯学習基本計画
- 宇治市生涯学習推進プラン(宇治まなびAIUEOプラン)
- 宇治市スポーツ振興計画(ASEプラン)

大分類 4  
生きる力を育む  
教育の充実と  
生涯学習の推進のまち

中分類 2 生涯学習の充実

小分類 3 歴史資料の  
充実・普及

現況と課題

千年の歴史に育まれた本市は、美しい自然景観、優れた地域文化や文化財を有しており、これら多くの資源を基盤に、先人からの知恵と伝統を受け継ぎながら、心豊かな人間性を育むことができる条件を兼ね備えています。こうした風土に加え、近年の生涯学習の気運の高まりから歴史や文化財への関心も大きくなっています。

しかし、そうした関心の高まりに反して、古文書をはじめとする歴史資料が急速に散逸しつつあるという現状もあります。文化財は、保護の手立てを講じなくなるとその時点で滅失し、二度と再生できないという性格を有しています。

歴史資料館は、1984年（昭和59年）の開館以来、様々な分野にわたる歴史資料や文化財に関する普及・啓発に努めるとともに、市内外に伝わる宇治の歴史に関する資料調査を継続的に実施し、調査により得た成果を展覧会の開催や、特別展図録・宇治文庫・収蔵文書調査報告書等の図書の刊行を通じて広く市民に公開してきました。

また、特別展・企画展や講座・講演会の開催などの普及活動の推進や学校教育と連携した児童・生徒の郷土学習支援を展開し、市民の郷土への愛着心を育み、文化財保護意識の向上に努めてきました。

こうした成果を踏まえ、今後は、生涯学習センターや源氏物語ミュージアムなどの各種施設との連携を図るとともに、積極的な情報発信に努めるなど市民の学習ニーズに的確に対応していく必要があります。さらに、家庭や地域に開かれた施設を目指すなど、宇治の歴史・文化を体験的に理解できるような参加型事業の取組や歴史資料館の持つ様々な教育的機能を活かしていくことなどが求められています。

目標

本市の恵まれた歴史的、文化的資産を次代へ受け継いでいくため、歴史資料等の調査と収集・保存に努め、市民への普及・啓発を図ります。

目標値・指標値

	現 状 値 (平成21年度)	第1期計画 (平成25年度)	将 来 展 望	備 考
歴史資料館収蔵資料目録の刊行数	11集	15集	映像と画像を組み合わせたデータの集成と公開(研究中)	
源氏物語ミュージアム企画展示数	企画展5回	企画展6回	特別企画展の開催(5年毎)	
源氏物語ミュージアム講座開設数	20講座	25講座	30講座	

取組の方向

1 ● 生涯学習関係施設の連携

市民の多様な学習ニーズに対応するため、歴史資料館・源氏物語ミュージアム・生涯学習センター・図書館等との連携を図り、積極的な情報発信に取り組みます。

2 ● 歴史資料等の調査と収集・保存

歴史的、文化的資産の散逸・消失を防ぎ、活用を図るため、資料の調査、収集保存、研究や普及活動に取り組みます。また資料のデジタル化やデータ活用などを検討します。

3 ● 歴史資料館の充実

市民の郷土への愛着心を育むため、歴史資料館における展示等普及活動や郷土学習支援など各種事業を実施します。

4 ● 源氏物語ミュージアムの充実

源氏物語に関する市民の学習ニーズへの対応と観光振興を図るため、源氏物語ミュージアムにおいて、常設展示・企画展示内容の充実や各種事業を実施します。



平成18年 特別展  
「昭和の子どもたち」  
展示図録

宇治川畔を走っていた  
おとぎ電車  
(市民提供の写真から)



源氏物語ミュージアムの展示